

「父と暮せば」



「あなた一人の被害者としては、

おのへんを忘れよう忘れようと思っております。

おのへんは、お話もなー、

絵になるお話を聞かせてななー、

一瞬の瞬間の瞬間の世の全てがのびのびしていました。

うすもふの思い出になるようなものはなんもかも焼き捨てるしまいました。」

仙台 8/17(日)

仙台サポートセンター B1F シアター

東京 8/29・30・31(金・土・日) 新宿ゴールデン街劇場

札幌 9/6・7(土・日) シアター ZOO

シアター ZOO 提携公演【Re:Z】

出演 板垣桃子 (棧敷童子) 若林正 (大沢事務所)

演出 宇都宮裕三 (ユニット together again) <http://nanos.jp/again123/>

CAST

美津江 (娘役)
板垣桃子 (劇団棧敷童子)

竹造 (父役)
若林正 (大沢事務所)



作・井上ひさし /
構成演出・宇都宮裕三 (together again 主宰)
音響・金子成一 / 全体制作・遠藤いづみ (TEAM#BISCO) /
チラシ写真・斎藤亮一 / チラシデザイン・佐藤智恵 /
DVD撮影・小泉玲 (株) セミコ /
協力・劇団棧敷童子 大沢事務所

昭和23年。広島。三年前の原爆で全て失ってしまった娘のもとに「あの日亡くなったはずの父」が現れる。二人の軽妙なやり取りから「あの八月の日」が、一つ、また一つと、鮮烈な形で浮かびあがって来る。これは「本」を読むだけの「朗読劇」などでは決してありません。台本を前に役者がほぼ台詞を覚え、リアルな役の感情を1時間20分生き切ります。「リーディングでこれほど感動するとは思わなかった」との声が次々に寄せられる、感情移入しやすい独特の上演形式です。照明、音楽、効果音もダイナミックに駆使し、最後のクライマックスでようやく役者は台本を離れ、生身で向き合う。それも自然な形で。かなり激しく感情移入を伴うその舞台は、初演から幾度となく立ち芝居を越える感動を呼び起こしてきました。今年も、夏、「あの八月の日」が、また巡ってきます。

仙台公演

8/17(日) 13時/16時

開場・受付ともに開演30分前

仙台市市民活動サポートセンター B1 市民活動シアター
(地下鉄「広瀬通駅」西5番出口すぐ)
仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL/022-212-0811

照明・西邑太郎 / 幕前ミニライブ・金子成一 /
協力・boxes Inc. ・矢口めぐみ・すずき桂子



開場 / 開演 30分前

受付 / 開演 60分前

前売当日共 **¥2,000** 日時指定・自由席 前売開始 7/1 座席数に限りがございます。ご予約はお早めに。

御予約

①お名前 ②日時 ③枚数 ④アドレスか電話番号をお知らせ下さい。

こちらから御連絡させていただきます。代金は当日受付にて御精算となります。

<メール> t.again@ezweb.ne.jp

<電話> 080-6881-1555

東京公演

8/29(金) 19時、8/30(土) 15時/19時

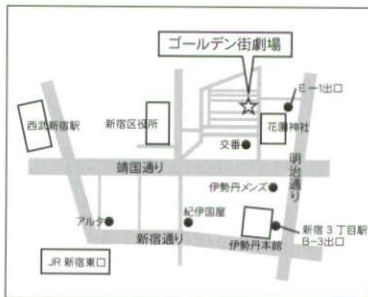
31(日) 14時/18時

新宿ゴールデン街劇場

(JR・新宿駅東口より徒歩6分、花園神社裏手)
東京都新宿区歌舞伎町1-1-7 マルハビル1F

TEL/03-5272-3537

照明・小藤康人 / 幕前ミニライブ・金子成一・松本清嗣



仙台公演

<PC用>

<https://ticket.corich.jp/apply/55869/>

<携帯用>

<http://ticket.corich.jp/apply/55869/>

東京公演

<PC用>

<https://ticket.corich.jp/apply/55870/>

<携帯用>

<http://ticket.corich.jp/apply/55870/>

札幌公演

9/6(土) 15時/19時、9/7(日) 15時

シアター ZOO

(地下鉄南北線「中島公園駅」1番出口より徒歩5分)
札幌市中央区南11条西1丁目ファミール中島公園 B1F

TEL/011-551-0909

主催・北海道演劇財団 (011-520-0710) ・
NPO 法人札幌座くらぶ / 照明・前田ゆりか /
幕前ミニライブ・金子成一・松本清嗣 / 協力・斎藤歩・
クニムラ (17時~23時: 予約受付 tel/011-7169-791) ・
コンカリーニョ斎藤ちず・レッドベリースタジオ飯塚優子・
末澤隆信・札幌自由学校「遊」小泉雅弘・酒井麻美



札幌公演

<PC用>

<https://ticket.corich.jp/apply/55871/>

<携帯用>

<http://ticket.corich.jp/apply/55871/>

2013年3月新宿、8月仙台・大分にて、井上ひさし作「父と暮らせば」準ドラマリーディングを上演しました。「ぜひ再演を」の熱い声にお応えし、この夏三都市での再演ツアーを企画しました。以下、昨年皆様から頂いたアンケートを一部抜粋紹介させていただきます。

●「素晴らしい公演をありがとうございました。役者さんの熱演に終始大きく心動かされ、体全体が熱くなったり、涙がこみ上げてきたりで感動の一時間半でした。まるでその場面にちょうど居合わせているかのように情景が浮かびました。特に「ジャンケンポン」のシーンは圧巻で「もし自分だったら」と考えたら号泣せずにはいられませんでした。こんなに胸が熱くなったのは本当に久々でした。」

●「とても良かったです。二人のみのリーディングですが、あつという間に広島の町に連れて行かれたように引き込まれました。構成・内容ともにまとまっていて堪能いたしました。これからもうこういった芝居をやってください！お待ちしております。」

●「なぜこんなに感動するのか、こんなに素晴らしい空間、時を創れるのか。人間て素敵ですね！」

●「美津江さんが最後に笑顔で手をふっている姿を見て胸が一杯になりました。回りにいる人の悲しみ、喜び、過去に生きた人の悲しみ、喜び、少しでもそのような想いを汲み取れる人間になりたいと思います。素敵な企画、ありがとうございました。」

●他、多数。ご協力、ありがとうございました。